



令和5年度 国立妙高青少年自然の家 教育事業報告
 自然体験活動総括指導者（NEALコーディネーター）養成研修



実施期間：令和5年11月30日（木）～令和5年12月3日（日）

目的・趣旨

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラム」に則り、自然体験活動総括指導者の養成研修を実施し、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じた適切かつ安全な指導ができる自然体験活動総括指導者を育成する。

事業概要

【参加者数】 13名

【実施内容】 自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラムに基づき、各種講義や演習を実施した。（以下が主なもの）

- （講義）青少年教育 （講義）学校教育 （講義・実習）特質
- （講義）指導 （講義・実習）対象者理解 （講義）安全管理
- （講義・実習）企画・運営

【外部指導者】 青木 康太郎 氏（國學院大学 准教授）
 青山 鉄兵 氏（文教大学 准教授）
 伊野 亘 氏（国立青少年教育振興機構 元理事）
 川村 悦子 氏（やまねこworks 主宰）
 瀧 直也 氏（信州大学 准教授）
 吉田 理史 氏（株式会社信州アウトドアプロジェクト）
 吉松 梓 氏（明治大学 准教授）

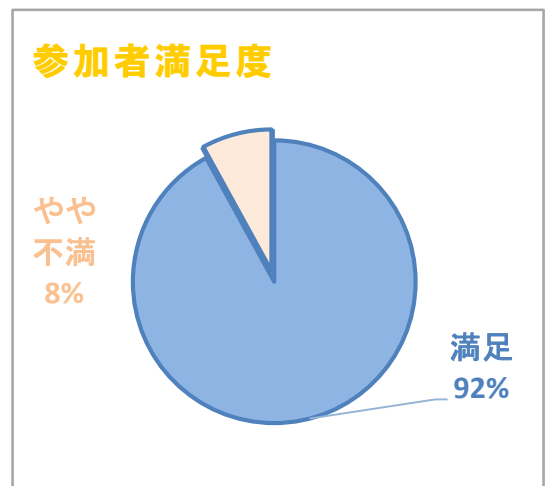
【主任講師】 桑山 宗大 氏（国立妙高青少年自然の家 次長）

事業のポイント

- NEAL指導者養成講習用テキストを執筆している講師の方やそれぞれのカリキュラムを専門として活動している方に講師を依頼し、より専門的に学べるようにした。
- 自然体験活動事務局と連携して広報を行うことで、全国に効率的にNEALインストラクター取得者へ広報できるようにした。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」が92%と高い評価を得ることが出来た。
- NEAL指導者養成講習テキスト執筆者に講師を依頼することでよりカリキュラムに沿った内容を実施することができた。
- 講義の中に実習を多く取り入れてもらうことで、参加者同士の学び合いが多く見られた。
- 自然体験活動推進協議会事務局と連携することで、全国的に広報を行うことができた。



事業の様子



講義の様子①



講義の様子②



講義の様子③



グループワーク（特質）



企画の様子



企画発表



ふりかえり



集合写真

参加者の声

- 資格取得に関わらず、自分を高める貴重な機会となりました。様々な講師のお話を聞くことができ、参加者からも多くの刺激をもらうことができた。
- 全国各地の方々と話ができ、つながれて嬉しかったです。講師が本当に最高でした。ありがとうございました。
- そうそうたる先生方の講義を通して自然体験活動の企画・運営に関わることを学ぶことが出来て、仕事において気づいたこと、学んだことを取り入れて取り組みたいと思います。

課題

- コーディネーター養成では内容が難しいため、講師を引き受けてくれる方が少ない。早めに講師のリストアップを行ったり、NEAL事務局へ講師を紹介してもらったりする必要がある。
- 全国でも年間1か所程度の養成研修のため、遠方からの参加者が多くみられる。交通機関の手配などがあるため、案内を早めに出せるよう準備する必要がある。